

教科書の調査研究報告書

安芸高田市・山県教科用図書採択地区合同調査委員会

校種	教科	教科用図書目録に搭載された教科書総数	本報告書の総ページ数
中学校	特別の教科 道徳	7	8

調査研究の観点及び各教科書の特徴

発行者 観点	2 東書	17 教出	38 光村	116 日文	224 学研	232 廣あかつき	233 日科
基礎・基本の 定着	<p>1 道徳科の学び方等の示し方</p> <p>・オリエンテーションのタイトルは、「道徳の授業はこんな時間に」とし、巻頭折り込み3ページに、学習の流れを示している。また、巻頭折り込み1ページで「話合いの手引き」を示している。「1年間で学ぶこと」とし、見開き2ページで4つの視点ごとに1年間</p>	<p>1 道徳科の学び方等の示し方</p> <p>・オリエンテーションのタイトルは、「道徳科で学びを深めるために」とし、見開き2ページに授業でどのように学んでいくのかを4つの視点で示している。また、見開き2ページで「この教科書で学んでいくテーマ」とし、道徳科で考えていきたいテーマを7つ、教材名</p>	<p>1 道徳科の学び方等の示し方</p> <p>・オリエンテーションのタイトルは、「道徳の授業を始めよう!」とし、見開き2ページに、4つの視点ごとに、1年間に学ぶ内容項目とともに「何を学ぶのか」、続く見開き2ページに、「どのように学ぶのか」を示している。</p>	<p>1 道徳科の学び方等の示し方</p> <p>・オリエンテーションのタイトルは、「道徳科で学ぶこと」「道徳科での学び方」とし、見開き2ページに、4つの視点ごとに、1年間に学ぶ内容項目を示すとともに、イラストや写真を使い、道徳科での学び方を「気づく」「考え、議論する、深める」「見つめる、生かす」</p>	<p>1 道徳科の学び方等の示し方</p> <p>・オリエンテーションのタイトルは、「新しい扉を開く」とし、見開き2ページに、イラストや吹き出しを使い、考えを深めるステップを4つで示している。また、見開き2ページに4つの視点ごとに、1年間で学ぶ内容項目と教材名を示している。</p>	<p>1 道徳科の学び方等の示し方</p> <p>・オリエンテーションのタイトルは「自分を見つめよう」とし、見開き2ページに道徳の時間について5つの視点で示している。また、巻末の見開き2ページ、4つの視点ごとに、1年間で学ぶ内容項目と教材名を示している。</p>	<p>1 道徳科の学び方等の示し方</p> <p>・オリエンテーションのタイトルは「道徳科って何を学ぶの?」とし、見開き2ページに4つの視点ごとに内容項目を、多様な考えを知るための6つの方法を示している。また、1ページに、教科書の使い方を5点示している。</p>

発行者 観点	2 東書	17 教出	38 光村	116 日文	224 学研	232 廣あかつき	233 日科
	<p>で学ぶ内容項目と教材名を示している。</p> <p>2 発問の工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> 発問は、教材文の終わりに「考えてみよう！」「自分を見つめよう」のコーナーにマークと共に記載し、発問を2～3示している。 3年生「二通の手紙」では、「元さんがはればれとした顔で職場を去ることができたのは、なぜだろう」「社会の中で規則や決まりを守ることが大切なのは、なぜだろう」の2つを示している。 	<p>とともに示している。</p> <p>2 発問の工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> 発問は、冒頭の教材名の下に1つ、また、教材文の終わりに「学びの道しるべ」として、3つ示している。 3年生「二通の手紙」では、「元さんがはればれとした顔で身のまわりを片づけ、職場を去っていったのはなぜだろう。」「姉弟を入園させた元さんの判断を、あなたは思うだろうか。」「きまりや 	<p>2 発問の工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> 発問は、教材文の終わりの「考えよう」のコーナーに、マークと共に「見方を変えて」で各1～2程度示している。 3年生「二通の手紙」では、「元さんは、規則を知っていながら、どうして姉弟を動物園の中に入れたのだろう」「元さんが『この年になって初めて考えさせられ』たのは、どんなことだっ 	<p>の3つで示している。</p> <p>2 発問の工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> 発問は、教材文の終わりに「考えてみよう」「自分に+1」で1つずつ示している。 3年生「二通の手紙」では、「元さんが、二通の手紙を並べて見比べながら、初めて考えさせられたこととはなんだろう。」「法やきまりについて、どのように考えればよいかまとめよう。」 	<p>2 発問の工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> 発問は、教材文の終わりに「考えよう」のコーナーに、マークと共に1～2程度示している。 3年生「二通の手紙」では、「二通の手紙を前に、元さんが考えさせられたこととはどのようなことだろう」「この話から、どのようなことを自分に生かせるだろうか」という2つを示している。 	<p>2 発問の工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> 発問は、教材文の終わりに「学習の手がかり」というめあてとともに2～3、「考えを広げる・深める」として1～2示している。 3年生「元さんと二通の手紙」では、「元さんはどう思って、姉弟を入園させたのか」「二通の手紙を見比べて元さんが考えたことはなんだろう。」「元さんはどうして晴れ晴 	<p>2 発問の工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> 発問は、教材文の終わりに「考え、話し合ってみよう そして、深めよう」と表示し、1～3示している。 2年生「二通の手紙」では、「二人の姉弟を入園させた元さんをどう思いますか。」「この年になって初めて考えさせられることとは、どんなことだったでしょう。」「元さんが晴れ晴れとした顔で身の回

発行者 観点	2 東書	17 教出	38 光村	116 日文	224 学研	232 廣あかつき	233 日科
	る。	法は、なんのためにあるのだろう。」の3つを示している。	たのだろう」「もし、入園終了時間直後の姉弟がやってきた場面に戻れたとしたら、元さんは、どうするのだろう。」という3つを示している。	「姉弟を入園させた元さんの、何が問題だったのだろう。」「②で考えたことをグループで話し合おう。また、この動物園のきまりは何のためにつくられたのかもあわせて考えてみよう。」の4つを示している。		れとした顔で身の回りの片づけをし、職場を去っていったのだろう。」「規則に問題があったのか、それとも元さんの思いやりに問題があったのか、考えてみよう」という4つを示している。	りを片付け、自ら職を辞し、職場を去って行ったのはどうしてでしょう。」という3つを示している。
主体的に学習に取り組む工夫	1 問題解決的な学習を取り入れた工夫 ・2つの教材を配置し、教材冒頭にテーマを示している。 【2年 P129～134】	1 問題解決的な学習を取り入れた工夫 ・教材文の終わりに「学びの道しるべ」のコーナーを設けている。 【2年 P22】	1 問題解決的な学習を取り入れた工夫 ・教材文の終わりに「てびき」を設けている。 【2年 P13】	1 問題解決的な学習を取り入れた工夫 ・目次、該当ページ、巻末にマークを付けて示し、教材文の終わりに「学習の進め方」のページを設けている。 【2年 P168～173】	1 問題解決的な学習を取り入れた工夫 ・教材文の終わりに「深めよう」のページを設けている。 【2年 P14, 15】	1 問題解決的な学習を取り入れた工夫 ・教材文の終わりに「考える・話し合う」のコーナーを設けている。 【2年 P12】	1 問題解決的な学習を取り入れた工夫 ・教材文の終わりに「考え、話し合ってみよう、そして深めよう」のコーナーを設けている。 【2年 P15】

発行者 観点	2 東書	1 7 教出	3 8 光村	1 1 6 日文	2 2 4 学研	2 3 2 廣あかつき	2 3 3 日科
	<p>2 体験的な学習を取り入れた工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> 直前の教材に関連した体験的な学習を促す教材を、掲載すると共に、動作や演技に関するマークを目次、該当ページに示している <p>【3年 P100・P101】</p>	<p>2 体験的な学習を取り入れた工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> 直前の教材に関連した体験的な学習を促すページを設けると共に、動作や演技に関するマークを該当ページに示している。 <p>【3年 P99】</p>	<p>2 体験的な学習を取り入れた工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> 直前の教材に関連した体験的な学習を促すページを設けている。 <p>【3年 P25】</p>	<p>2 体験的な学習を取り入れた工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> 直前の教材に関連した体験的な学習を促すページを設けると共に、動作や演技に関するマークを目次、該当ページに示している。 <p>【3年 P18・P19】</p>	<p>2 体験的な学習を取り入れた工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> 直前の教材に関連した体験的な学習を促すページを設けている。 <p>【3年 P61】</p>	<p>2 体験的な学習を取り入れた工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> 体験的な学習を促す教材を掲載している。 <p>【3年 P69】</p>	<p>2 体験的な学習を取り入れた工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> 体験的な学習を促す教材を掲載している。 <p>【3年 P56・P57】</p>
内容の構成・配列・分量	<p>1 分量や教材の数</p> <ul style="list-style-type: none"> 分量は、AB版 196～204 ページある。教材数は、C が 43 教材、その他は、A21, B22, D25 と配分されている。 	<p>1 分量や教材の数</p> <ul style="list-style-type: none"> 分量は、B5版 202～218 ページある。教材数は、C が 43 教材、その他は、A21, B20, D21 と配分されている。 	<p>1 分量や教材の数</p> <ul style="list-style-type: none"> 分量は、B5版 197～205 ページある。教材数は、C が 41 教材、その他は、A29, B27, D27 と配分されている。 	<p>1 分量や教材の数</p> <ul style="list-style-type: none"> 分量は、B5版 198 ページと別冊 42 ページ、合計 240 ページある。教材数は、C が 46 教材、その他は、A18, B20, D21 と配分されている。 	<p>1 分量や教材の数</p> <ul style="list-style-type: none"> 分量は、AB版 186～198 ページある。教材数は、C が 37 教材、その他は、A24, B22, D22 と配分されている。 	<p>1 分量や教材の数</p> <ul style="list-style-type: none"> 分量は、AB版 166～186 ページと別冊 52 ページ、合計 218～238 ページ。教材数は、C が 36 教材、その他は、A24, B21, D24 と配分されている。 	<p>1 分量や教材の数</p> <ul style="list-style-type: none"> 分量は、B5版 194 ページある。教材数は、C が 47 教材、その他は、A20, B23, D21 と配分されている。

発行者 観点	2 東書	1 7 教出	3 8 光村	1 1 6 日文	2 2 4 学研	2 3 2 廣あかつき	2 3 3 日科
	<p>2 現代的な課題等を踏まえた内容の示し方</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現代的な課題等を踏まえ、3つの教材で構成されたいじめ問題対応ユニット「いじめのない世界へ」を4～5月に設け、目次に桃色の枠囲みで示している。 <p>【1年 P22～32】</p>	<p>2 現代的な課題等を踏まえた内容の示し方</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現代的な課題等を踏まえ、いじめ問題を直接的に扱った教材といじめ許さない心の育成を間接的に支えるための教材を、コラムページを組み合わせているユニットを設け、体系的に配置している。 <p>【1年 P40～55】</p>	<p>2 現代的な課題等を踏まえた内容の示し方</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現代的な課題等を踏まえ、複数の教材からなるユニット「いじめを許さない心について考える」を学年の前半に設け、目次に緑色の下線で示している。 <p>【1年 P30～41】</p>	<p>2 現代的な課題等を踏まえた内容の示し方</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現代的な課題等を踏まえ、いじめ問題を直接的・間接的に扱った教材をコラム「プラットホーム」をユニット化し、年間で複数配置している。また、いじめを扱うユニット『いじめ』と向き合うは、目次に橙色の下線で示している。 <p>【1年 P28～49】</p>	<p>2 現代的な課題等を踏まえた内容の示し方</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現代的な課題等を踏まえ、いじめ防止につながる教材を選定するとともに、いじめ防止につながる特設ページ「クローズアップ」「クローズアッププラス」を設けている。 <p>【1年 P115, P153】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・巻頭において、「いじめをなくすために」をテーマとした教材を示している。 <p>【1年 P24～27】</p>	<p>2 現代的な課題等を踏まえた内容の示し方</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現代的な課題等を踏まえ、いじめを直接的に扱った教材とともに、教材の学びを深める特集「thinking」を設けている。 <p>【1年 P41】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「いじめ」を様々な内容項目の学習と関連させながら考える特集ページ「いじめを許さない 私たちの心」を設けている。 <p>【1年 P174～175】</p>	<p>2 現代的な課題等を踏まえた内容の示し方</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現代的な課題等を踏まえ、いじめを正面から取り上げている教材と生命尊重への学びをより深める教材を複数選定している。 <p>【1年 P47～54, P104～107, P162～165】</p>
内容の 表現・表記	<p>1 巻頭等、巻末等の取扱い方</p> <ul style="list-style-type: none"> ・巻頭には、各学年「話し合いの手引き」「道徳の 	<p>1 巻頭等、巻末等の取扱い方</p> <ul style="list-style-type: none"> ・巻頭には、各学年、「道徳科で学びを深めるため 	<p>1 巻頭等、巻末等の取扱い方</p> <ul style="list-style-type: none"> ・巻頭には、各学年「本書で学ぶ皆さんへ」を1 	<p>1 巻頭等、巻末等の取扱い方</p> <ul style="list-style-type: none"> ・巻頭には、各学年「この教科書で学ぶテーマ」 	<p>1 巻頭等、巻末等の取扱い方</p> <ul style="list-style-type: none"> ・巻頭には、各学年の目次の前に「道徳で学ぶこ 	<p>1 巻頭等、巻末等の取扱い方</p> <ul style="list-style-type: none"> ・巻頭には、各学年、「一道德の時間とはー」を見 	<p>1 巻頭等、巻末等の取扱い方</p> <ul style="list-style-type: none"> ・巻頭には、各学年、「道徳科って何を学ぶの？」

発行者 観点	2 東書	17 教出	38 光村	116 日文	224 学研	232 廣あかつき	233 日科
	<p>授業はこんな時間に」と折り込みページで示している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・巻末には、各学年「テーマで振り返ろう」とし、6つのテーマで教材を分類して示している。また、切り取り式のホワイトボード用紙、心情円を設けている。 	<p>に」を見開き2ページで示している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・巻末には、各学年「都道府県にゆかりのある人物と、その言葉」を6ページと「これからを生きるみなさんへ」を1ページ示している。 	<p>ページ示している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・巻末には、見開き2ページに各学年テーマ別教材一覧を示している。また、各学年、各分野で活躍している人のメッセージを見開き2ページで示している。 	<p>を見開き2ページで示し、『『いじめ』と向き合う』のテーマには囲みがある。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・巻末には、各学年、内容項目別教材一覧を示し、テーマや教科等との関連等を示している。 	<p>と・考えること」を見開き2ページで示している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・巻末には、各学年「心の四季」を1ページで示し、各学年、内容項目別教材一覧を4つの視点別で示している。 	<p>開き2ページで示している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・巻末には、各学年、4つの視点で色分けをし、内容項目ごとに、掲載している全ての教材名を示している。 	<p>を見開き2ページで示している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・巻末には、各学年、「学習指導要領対応表」とし、4つの視点で色分けをし、内容項目ごとに、全ての教材名を示している。
	<p>2 教材の内容を理解させる工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「アクション」「プラス」のマークやDマーク、教科関連マーク、心情円等のマークを設定している。 	<p>2 教材の内容を理解させる工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「学びの道しるべ」、「問い」「やってみよう」等のマークを示している。 	<p>2 教材の内容を理解させる工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「考えよう」、「見方を変えて」、「つなげよう」「深めたいむ」等のマークを設定し、問いを「・」で示している。 	<p>2 教材の内容を理解させる工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「考えてみよう」、「自分に+1」「プラットホーム」、「参考」、「わたしの生き方」等のマークを設定している。 	<p>2 教材の内容を理解させる工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「考えよう」、「クローズアップ」、「クローズプラス」「深めよう」等のマークを設けている。 	<p>2 教材の内容を理解させる工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「考える・話し合う」、「学習の手がかり」、「考えを広げる・深める」「thinking」等のマークを設定している。 	<p>2 教材の内容を理解させる工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「考え、話し合ってみよう そして、深めよう」等のマークを設定している。

発行者 観点	2 東書	17 教出	38 光村	116 日文	224 学研	232 廣あかつき	233 日科
言語活動の 充実	<p>1 考えを伝え合う活動の工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・巻頭「道徳の授業はこんな時間」の中に、「話し合いの手引き」を示すと共に、ショートストーリーを例に話し合いの具体的な流れを示している。 <p>【1年P3～6】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教材の中に、話し合いを促す発問を示している。 <p>【1年P86～87】</p>	<p>1 考えを伝え合う活動の工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・巻頭「道徳科で学びを深めるために」の中に、話し合いの方法を示している。 <p>【1年P4, 5】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教材文の終わりの「学びの道しるべ」のコーナーに、話し合いを促す発問を示している。 <p>【1年P13】</p>	<p>1 考えを伝え合う活動の工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・巻頭「道徳の授業を始めよう！」の中に対話のポイントを示している。 <p>【1年P8, 9】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「深めたいむ」のページに、話し合いを促す発問を示している。 <p>【1年P34～35】</p>	<p>1 考えを伝え合う活動の工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・巻頭「道徳科での学び方」の中に、学習の流れを示している。 <p>【1年P3】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教材文の終わりの「学習の進め方」のページに、教材における話し合いを促す発問を示している。 <p>【1年P26～27】</p>	<p>1 考えを伝え合う活動の工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・巻頭「新しい扉を開く」に、話し合う学習活動を提示し、「考えを深める4つのステップ」を示している。 <p>【1年P2, 3】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教材文の終わりの「深めよう」のページに「話し合おう」を設定し、教材における話し合いを促す発問を示している。 <p>【1年P15】</p>	<p>1 考えを伝え合う活動の工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・巻頭「自分を見つめようー道徳の時間とはー」の中に、話し合いのポイントを示している。 <p>【1年P2, 3】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教材文の終わりの「考える・話し合う」のコーナーに、「学習の手がかり」「考えを広げる・深める」を設定し、教材における話し合いを促す発問を示している。 <p>【1年P5】</p>	<p>1 考えを伝え合う活動の工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・巻頭「道徳科って何を学ぶの？」の中に、話し合いのポイントを示している。 <p>【1年P4, 5】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教材文の終わりの「考え、話し合ってみよう そして、深めよう」のコーナーに、教材における話し合いを促す発問を示している。 <p>【1年P25】</p>
	<p>2 考えをまとめたり、振り返ったりする活動の工夫</p>	<p>2 考えをまとめたり、振り返ったりする活動の工夫</p>	<p>2 考えをまとめたり、振り返ったりする活動の工夫</p>	<p>2 考えをまとめたり、振り返ったりする活動の工夫</p>	<p>2 考えをまとめたり、振り返ったりする活動の工夫</p>	<p>2 考えをまとめたり、振り返ったりする活動の工夫</p>	<p>2 考えをまとめたり、振り返ったりする活動の工夫</p>

発行者 観点	2 東書	17 教出	38 光村	116 日文	224 学研	232 廣あかつき	233 日科
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 巻末に、心に残った教材や授業で学んでよかったこと、来期の取り組み方等を記録する、振り返りのページ「自分の学びを振り返ろう」を設けている。 【3年 P193～197】 【3回分】 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 巻末に、毎時間の学習を通してためになったこと、勉強になったこと等の感想を記入する欄を設けている。 【3年 P190～191】 【教材ごと】 ・ 巻末に、心に残った教材や自分が成長したと思うこと等を記入する、振り返りのページを設けている。 【3回分】 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 巻末折り込みに、毎時間の学習を通して考えたことや感じたこと等を振り返り記録する折込を設けている。また、巻末に自分の将来を想像し、人生目標を年表に書く欄「人生目標年表を書こう」を設けている。 【3年 P186～187】 【1回分】 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 別冊「道徳ノート」に、授業で学んだこと等について振り返る欄を設けている。 【教材ごと】 ・ 別冊「道徳ノート」の巻末に、道徳の学習で印象に残ったこと等を記入する、保護者の記入欄付きの振り返りのページを設けている。 【3回】 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 授業での取組や心に残った授業等を記録する、振り返りのページを設けている。 【3年 P189～195】 【4回分】 ・ 巻末に、未来への自分に手紙を書く欄「未来への扉」を設けている。 【3年 P187】 【1回分】 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 別冊「中学生の道徳ノート」の巻末に、心に残っている授業の記録を書く欄を設けている。 【3年 P44】 【3回分】 ・ 別冊「中学生の道徳ノート」の巻末に学習の記録を書く欄を設けている。 【3年 P26～43】 【36回分】 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 巻末に、1年間の成長を振り返るページを設けている。まとめとして「3年生の心の成長を振り返りましょう」を内容項目ごとに設けている。 【3年 P190】 ・ 巻末に、3年間の道徳の授業について振り返るページ「私の道徳記録」を設けている。 【3年 P191】 【1回分】